

名アリ、又舶來ノ青雞、小バンノ形ニシテ大ナル者ナリ、大バンハコバンヨリ大ニシテ、全身黒ク頭毛短シテ色白シ、脚ニ蹠アリテ指濶ク、青黒色ナリ、百鳥圖ニ骨頂ト云フ、略 中
方目ハオホバンナリ、形鵝鵠ヨリ大ニシテ、冠ノ處剃髮ノ痕ノ如ク、毛短シテ微シ低シ、喙淡赤色、全體鼠色ニシテ褐色ヲ帶フ、足ハ青黒ニシテ蹠アリ、共ニ水鳥ニシテ夜啼クモノナリ、小バンハ其一種ナリ、

〔雍州府志土產〕鵠 鵠於中華書未見之、夏初在澤邊者有大小之異、其大者謂大鵠、又稱水鳥、羽毛偏黒而風味兪惡也、其小者謂小鵠、又號梅首鷄、其頂有赤毛點、故稱之、羽毛淡黒而兩脚淡黃、其味爲佳、是又夏初之珍味也、與等并伏見澤多、一說中華所謂秧雞是也、

〔武江產物志〕水鳥類 田雞本所ばんば

〔大和本草水鳥〕河鳥 山カハニアリ、其大サツグミホドアリ、黒シ、人ヲ見テ河ニシタガヒテ遠ク去、小兒ノ疳ヲ治スル妙藥ナリ、漢名未詳、

〔和漢三才圖會水禽〕河鵠 正字未詳

按河鵠大似鵠、而全體嘴脚共黒、深山谷川有之、飛不甚高、而捷速難捕、丹波及和州吉野山中多有之、又以大鵠爲河鵠、河鵠黒燒有入小兒藥方、用者宜選之、

〔重修本草綱目啓蒙林禽〕慈鳥略 中

増、河鳥ハ山中溪側ニアリ、慈鳥ノ類ニ非ズ、黒色ニシテ大サツグミホドアリ、人ヲ見レバ流ニ從ヒ低ク飛テ遠ク去ル、小兒ノ疳ヲ治スル妙藥ナリ、先師コレヲ通雅ノ曉鳥ニ充ツ、

〔飼鳥必用上〕川鳥の巢子飼立候事甚六ヶ敷、立春三十日計も致候得者、早子者かへり候、川の岸の穴、又は川中の大石に穴ある處、江巢を懸其外瀧の落る脇杯、江石岸瀧水の露懸る所へ、巢を青ごけを巢草にして巢組する也、巢より取揚十日計は日増に盛長いたし能く生立候得共、それより

河鳥